最終更新日 2016/5/16

質問票の構成

■質問票構造

BDHQ シリーズは自記式食事歴法質問票です。自記式とは、回答者自自身が回答を記入することを言います。食事歴法質問票とは、食品の摂取頻度に加えて、調理法や食行動なども同時に尋ねる質問票のことを言います。

各質問票は A4 で 4 ページです。BDHQ のサンプルは以下となります。

BDHQ 質問票 P.1

P.2

P.3

P.4

それぞれ以下のような質問から構成されています。

BDHQ 質問 95 項目

質問	内容	項目数	掲載頁
個人特性	ID（3項目）、妊娠週、授乳有無、性別、生年月日（4項目）、今日の日付（3項目）、身長、体重	15	P.1
食品摂取頻度と量	52種類の食品の摂取頻度または量（お酒: 6項目）	53	P.2,3
食行動	コーヒー・紅茶に入れる砂糖、玄米・胚芽米等を混ぜるか、肉・魚の調理方法（9項目）、お肉の脂身、麺のスープ、家庭の味付け、食事中に使うしょうゆ・ソース（2項目）、外食定食と比べた量（2項目）、季節によって食べ方がちがう食べ物（3項目）	21	P.3,4
その他	朝ごはんの頻度、食べる速さ、栄養補助食品の使用、食習慣を変えたか、専門家の食事指導の有無、質問票に答えたひと	6	P.4

BDHQ15y 質問 101 項目

質問	内容	項目数	掲載頁
個人特性	ID（2項目）、性別、生年月日（3項目）、今日の日付（3項目）、身長、体重	11	P.1
食品摂取頻度と量	63種類の食品の摂取頻度または量	63	P.2-4
食行動	お茶碗の種類、肉・魚の調理方法（9項目）、お肉の脂身、鶏肉の皮、麺のスープ、家庭の味付け、季節によって食べ方がちがう食べ物（3項目）	17	P.3,4
その他	質問票に答えたひと、運動・クラブ活動、朝ごはんの頻度、栄養補助食品（サプリメント）の使用、食べる速さ、噛むか、虫歯、アレルギー、食習慣を変えたか、専門家の食事指導の有無、	10	P.1,4

BDHQ3y 質問 101 項目

質問	内容	項目数	掲載頁
個人特性	ID（3項目）、性別、生年月日（3項目）、今日の日付（3項目）、身長、体重	12	P.1
食品摂取頻度と量	61種類の食品の摂取頻度または量	61	P.2,3
食行動	肉・魚の調理方法（9項目）、お肉の脂身、鶏肉の皮、麺のスープ、家庭の味付け、季節によって食べ方がちがう食べ物（3項目）	16	P.3,4
その他	質問票に答えたひと、運動・クラブ活動、食事の頻度、野菜は、お腹がすいたというか、栄養補助食品の使用、食べる速さ、噛むか、虫歯、アレルギー、食習慣を変えたか、専門家の食事指導の有無、	12	P.1,4

これらの質問に対する回答を用いて、回答者の食品摂取量と栄養素摂取量が計算（栄養価計算）されます。算出される食品数は以下のとおりです。算出される栄養素はおよそ 100 種類あり、現在も随時更新（増加）中です。

BDHQ で算出される食品数

	食品摂取頻度からの算出	食行動からの算出	合計
BDHQ	52食品	6食品：コーヒー・紅茶に入れる砂糖、食事中に使うしょうゆ・ソース、麺スープ、調理食塩、調理油、調理砂糖	58食品
BDHQ15y	63食品	4食品：麺スープ、調理食塩、調理油、調理砂糖	67食品
BDHQ3y	61食品	4食品：麺スープ、調理食塩、調理油、調理砂糖	65食品

その結果の一部を用いて、個人結果帳票が作成されます。

■質問項目の特徴

BDHQ で尋ねている食品は、過去に行われた食事調査で高い頻度で摂取されていた食品、さらに、BDHQ の基になった DHQ を用いた食事調査で高い頻度で摂取されていた食品から選定されています。類似の栄養素構成をもち、食べ方も似ている食品は、ひとつの質問にまとめられています。類似の食品でも、栄養素含有量が大きく異なるものは別々に尋ねるようになっています。例えば、低脂肪牛乳と普通脂肪牛乳、脂の乗った魚と脂の少ない魚、各種野菜が別々の質問になっているのが具体例です。特に、生活習慣病に関連することが知られている栄養素の摂取量を知る上で欠かせない食品に注目した食品の選択を行っています。そのため、他の類似の質問票と比べて、野菜・果物、魚介類などの質問数が比較的多い、調理や調味に関する質問が定性的というよりも半定量的な尋ね方になっている、などの特徴があります。

ごはん（めし）とみそ汁の２種類は、１日に食べる量（杯数）を尋ねています。これは、この２種類の食品は他の食品に比べて摂取頻度、摂取量ともに高く、各栄養素摂取量への寄与も大きいため[1)]、週あたりや月あたりの摂取頻度とせずに、１日に摂取する杯数を尋ねるようにしたためです。

摂取量を算出する栄養素は、「日本食品標準成分表 2010」に収載されている栄養素を基本として、その他に、生活習慣病（特に、循環器疾患、骨折、がん）との関連が示唆されている栄養素や微量物質に関しても考慮しています。

【参考文献】

1） Sasaki S, Takahashi T, Iitoi Y, et al. Food and nutrient intakes assessed with dietary records for the validation study of a self-administered food frequency questionnaire in JPHC Study Cohort I. J Epidemiol 2003; 13: S23-S50.